

「つくる」 & 「ためる」 で GX を促進！

中継局放送設備へ太陽光発電（PV）設備を導入

～青梅中継局および八王子中継局で運用を開始～

株式会社エフエム東京（本社：千代田区麹町、代表取締役社長執行役員：唐島夏生、以下、TOKYO FM）は、青梅中継局および八王子中継局に自家消費型の太陽光発電（PV：Photovoltaic）設備の設置を完了し、2026 年 7 月 6 日より運用を開始しました。これにより、電気を「つくり」、中継局運用に再生可能エネルギーを利用できるほか、あわせて蓄電池を設置することで、電力を効率的に「ためる」仕組みを中継局内で完結させています。



青梅中継局 83.6MHz 外観

受信空中線(左側)と送信空中線(右側)の間の局舎屋根(中央)に
PV パネル 8 枚を設置 (715W×8 枚=5.7kW)



八王子中継局 80.5MHz 局舎内

ハイブリッドインバーター(5kW)と
バッテリー(5kW)

本設備の導入により、再生可能エネルギーを利用できるのみならず、万が一の停電時にも、太陽光で電力を「つくる」ことと、蓄電池（安全性の高いリン酸鉄バッテリー）に「ためる」仕組みを両立。電源のバックアップ体制を二重化し、放送の安全信頼性を高めます。

また、世界標準である「IEC 規格」の汎用品を導入設備に活用することにより、導入コストを大幅に抑制しています。さらに自社施工を交えることにより、一般的な回収期間（10～15 年）よりも短い、6 年程度での費用回収を見込んでいます。

TOKYO FM は東京都が推進する「HTT（電力をへらす・つくる・ためる）」に賛同しています。今後、本運用により得られた知見やデータを、全国の JFN(ジャパンエフエムネットワーク) 系列局をはじめとする放送業界内で共有し、他の拠点への展開も視野に入れながら、持続可能なカーボンニュートラルの推進に貢献してまいります。

【本件に関するお問合せ】

株式会社エフエム東京 コーポレート・コミュニケーション室 CC戦略部

TEL：03-3221-0080（大代表） MAIL：ir@tfm.co.jp